

2026年度

学校名 神橋小学校

対象学年 3年

① 学習指導案

プログラム	No. 3「よくよく見れば、あの場所に」
単元名 (全 時間)	かみはしオリジナル文様をつくろう
学習のねらい	まちを探検することで、まちにある様々な自然や意匠に触れ、地域に根ざす紋についても知り、紋のもつ奥深さや、いろいろな人と関わるよさを意識できるようにする
学習内容	1 紋切り遊びを通して、文様の魅力に気がつく。 2 神橋の地域をめぐり、特徴のある自然や意匠について調べる。 3 調べた情報を分析・整理し、オリジナル文様について考える。 4 オリジナル文様を作成し、校内や商店街などに飾る。
参考資料	『切り紙もんきりあそび』下中菜穂（宝島社）
準備品	『こども文様じてん』下中菜穂（平凡社）
実施場所等	折り紙、はさみ、ラミネートフィルム 学校、商店街

学習の流れ

時間	学習活動	教師の指導	評価
2	・「紋切り遊び」を知り、手本を元に自分たちで自由に切り開く。	・事前に資料などを配置し、あらかじめ興味を持たせる。 ・講師を呼び、技術的な部分だけでなく、文様にこめられた思いも理解できるようにする。	紋切り遊びを通して、紋にいくつもの種類があることを知り、そこにこめられた意味を理解する。（知識・技能）
4	・地域を回り、様々な自然や模様、意匠について調べる。	・子どもたちが撮影したものは共有できるようにし、比較や関連付けができるようにする。	地域の意匠や自然を調べ、情報を集め、整理することでそれぞれを比較し、特徴を見つける。（思考・判断・表現）
4	・情報を整理、分析する。 グループで話し合い、相違点や共通点を見出す。	・思考ツールを活用できるようにする。	自分と地域のつながりに気付き、地域と関わりを持つようとする（主体的に学習に取り組む）
4	・話し合いをもとにオリジナル文様を作成する。	・作成するだけでなく、校内のどこに飾るかなどの課題についても気づけるように適宜助言を行う。	
2	・文様発表会を行う。	・招待の仕方や進行の仕方などの部分についても指導を行う。	

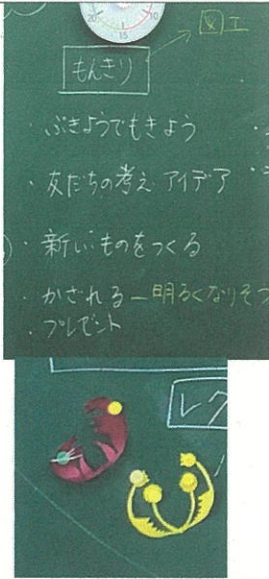


			学び)。
--	--	--	------

<留意点>

- ・複雑さや難易度ではなく、いかに「神橋らしさ」が出ているかをもてるようにする。
- ・町探検の際は安全に十分に留意する。

② 事業実施報告書詳細

学校名 神橋小学校

時間数	場所	概要	活動記録(写真)	対象者の反応
4	教室	<ul style="list-style-type: none"> ・「紋切り遊び」を知り、手本を元に自分たちで自由に切り開く。 ・実際に行った経験を基に、どんなよさがあるかを考える。 		<ul style="list-style-type: none"> ・そんなに折り紙が上手じゃなくてもできそう。 ・開いて形になるのが面白い。 ・かざったらおもしろそう。 ・みんなのアイデアを生かせそう
2	教室	<ul style="list-style-type: none"> ・「紋切り遊び」の講師の方に来ていただき、もんきりのことを教えてもらう。 		<ul style="list-style-type: none"> ・もんきりの歴史がおもしろかった。 ・こんなに古くからある遊びなんだ。 ・失敗してもそれが味、というのがおもしろい
6	教室 通学路 岸根公園 杉山神社 学校	<ul style="list-style-type: none"> ・地域を回り、様々な自然や模様、意匠について調べる。 ・情報を整理、分析する。 ・グループで話し合い、相違点や共通点を見 		<ul style="list-style-type: none"> ・意外に花や鳥が多い町なんだと思った。 ・長くある街だから、そういう亀とか鶴とか、そういうのもいい。 ・色合いも、明る

		出す。		いものとか、色とりどりだと、神橋に合いそう。
4	教室	・かみはしの町にあったもんきりをかざるために、整理したもんきりを切ってまとめる。		<ul style="list-style-type: none"> ・色の近いものを集めよう。 ・テーマの近いものを集めて飾るとよさそう。 ・場所はみんなが通る東棟と南棟の玄関にしよう。

③ 実施内容について

<p>(1) 実施にあたり工夫した点</p> <p>本単元の実施にあたっては、児童が主体的に学習に取り組めるよう複数の工夫を行いました。まず、事前に資料等を配置し、あらかじめ児童の興味を喚起するよう努めました。また、外部講師を招聘することで、単なる技術的な指導にとどまらず、文様に込められた思いや歴史的背景にも触れられるようにしました。思考ツールを活用して情報の分析・整理を促すとともに、作品の複雑さや難易度ではなく、「神橋らしさ」がいかにか表現できているかを評価の視点としてもたせるよう留意しました。作成後も、ただ作って終わりにするのではなく、校内のどこに飾るかといった課題に児童自身が気づけるよう適宜助言を行いました。</p>
<p>(2) 実施にあたり苦労した点</p> <p>町探検の際、児童の安全確保に十分に留意する必要があり、事前の準備や引率に気を配りました。手先が器用でない児童もいるので、その点が難しかったです。講師の「失敗も味のひとつ」という言葉をクラスでも共有し、どんどん挑戦する雰囲気をつくりました。</p>
<p>(3) 児童の反応</p> <p>活動を通して、児童からは非常に前向きな反応が見られました。「そんなに折り紙が上手じゃなくてもできそう」「開いて形になるのが面白い」と、楽しみながら紋切りに取り組んでいました。また、講師の話からは「こんなに古くからある遊びなんだ」「失敗してもそれが味、というのがおもしろい」と、伝統の奥深さを感じ取っている様子でした。町探検後には「意外に花や鳥が多い町なんだと思った」「長くある街だから、亀とか鶴とかがいい」など地域の魅力に改めて気づき、「色とりどりだと神橋に合いそう」と自分たちの地域に合ったデザインを主体的に考えていました。飾り付けに関しても「色の近いものやテーマの近いものを集めよう」「みんなが通る東棟と南棟の玄関にしよう」と活発な意見交換が行われまし</p>

た。

(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化

本実践を通して、担当教諭は地域素材を教材化する有効性を再認識し、今後の学習においても地域との連携を深める意欲が高まりました。また、完成したオリジナル文様が校内に飾られたことで、担当外の教諭からも「児童の視点を通した神橋らしさがよく表現されていて素晴らしい」「こんなにきれいに切れることがすごい」といった声が寄せられ、学校全体で地域のよさを見直す良い契機となりました。

(5) 今後の課題と取り組み（児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等）

今回の学習で培った「自分と地域のつながりに気づき、地域と関わりを持つ」という姿勢を、単発の活動で終わらせず、他の教科や行事にも広げていくことが今後の課題です。今後は、作成した文様を地域の商店街や公共施設にも掲示してもらするなど、学校内にとどまらない地域への発信活動を検討しています。また、より多くの地域住民と関わる機会を設け、児童が多様な価値観に触れながら成長できるような学習計画を構築していきたいと考えています。